

〔 沿 革 〕

1. 市の沿革

京田辺市の歴史は大変古く、早くから文化の開けたところであり、市内では、天神山堅穴住居跡群や飯岡古墳群をはじめ、数多くの遺跡が発見されています。また、古事記・日本書紀・万葉集などにもうたわれている「筒城」は、後に郡名（綴喜郡）にもなり、継体天皇が筒城宮として山城の国に皇居を最初に定められた地といわれています。

奈良時代には、奈良から太宰府に抜ける山陽道の山本駅が設けられるなど、交通の要衝として開けていました。また、市のシンボルでもある甘南備山は、平安京造営に際し、基準点として利用されていました。

平安時代末期から室町時代には、源平の戦乱の時代に三度も閑白職についた近衛基通公や一休禅師のような名高い高僧がこの地を愛し、晩年を過ごしています。

明治31年には、JR片町線（学研都市線）の前身である関西鉄道が長尾～木津間に開通し、田辺駅（現、京田辺駅）が設置されました。また、昭和3年11月には、奈良電気軌道（現、近鉄京都線）が京都～西大寺間に開通することにより、南山城地域の中心地として発展してきました。

明治22年の市制町村制実施に際し、田辺村、薪村、河原村、興戸村の4か村が合併して、田辺村となり、明治39年10月12日に町制を施行し、田辺町となりました。昭和26年には隣接する大庄村、草内村、三山村、普賢寺村の4か村を編入統合しました。その後、平成9年4月1日に市制を施行し、京田辺市となり現在に至っています。

区分	明治7年2月	明治9年7月	明治22年4月	明治39年10月	昭和26年4月	平成9年4月		
綴喜郡	田 辺 村	田 边 村	田 边 村	田 边 町	田 边 町	京田辺市		
	田辺新田村							
	北興戸村							
	南興戸村							
	薪 村							
	河 原 村							
	大 住 村							
	松 井 村							
	水 主 村							
	東 村							
	草 内 村							
	飯 岡 村							
	宮 ノ 口 村	宮津村	三山村	三山村				
	江 津 村							
	山 本 村							
	南 山 村							
	出 垣 内 村							
	高 木 村							
	天 王 村	普賢寺村	普賢寺村	普賢寺村				
	高 船 村							
	打 田 村							
	水 取 村							
	上 村							
	多 タ 羅 村							

資料:田辺町史ほか

[土 地]

2. 位置と面積

本市は、京都府の南西部にあって、南山城地方の中央やや西寄りに位置しています。

東は木津川をはさんで城陽市、綴喜郡井手町と接し、西は生駒山系により大阪府枚方市、奈良県生駒市と境を分かち、北は八幡市、南は相楽郡精華町と接しています。

市の中心部から直線距離にして、京都市へ約22km、大阪市へ約28km、奈良市へ約15kmと、近畿大都市を結ぶ三角形のほぼ中心に位置しています。

また、国家的プロジェクトとして京都府、大阪府、奈良県にまたがる京阪奈丘陵において建設が進められている関西文化学術研究都市の北東部分となります。

市役所の位置		広ぼう(km)		総面積
東 経	北 緯	東 西	南 北	(km ²)
135度46分04秒	34度48分52秒	5.5	10.9	42.92

資料:国土地理院

3. 地 形

本市の地形は、西部が生駒山系に連なる丘陵地であり、東部は淀川の三大支流の一つである木津川のつくりあげた沖積地からなる平野であり、甘南備山の麓から扇状にひろがった東斜面の不等辺三角形です。丘陵地から低地に至る緩傾斜地帯には、集落が多く分布し、四季それぞれに特色をもつ良好な自然環境に恵まれています。

4. 地 質

本市の地質は、甘南備山に僅かながら古生層が見られますが、市の西部丘陵地域は、大阪層群と呼ばれている洪積層の砂や粘土・礫などによって構成されたやわらかい地層です。この洪積地域の東側の木津川沿いの低地帯は、木津川によってつくられた沖積層です。

5. 土地利用

(各年1月1日現在調)

単位:ha

区分 年	総 数	田	畠	宅 地	池・沼	山 林	原 野	鉄道軌道 用 地	ゴルフ 場 等	その 他
平成30年	4,292	740	270	669	1	841	25	29	70	1,647
31年	4,292	735	270	672	1	838	24	29	70	1,653
令和2年	4,292	732	270	673	1	837	24	29	70	1,656

資料:税務課

6. 課税対象面積

(令和2年1月1日現在調)

単位:千m²

区分 地域	総 数	田	畠	宅 地	池・沼	山 林	原 野	鉄道軌道 用地	ゴルフ場 等	その他
総 数	27,776	7,332	2,703	6,678	6	8,371	235	288	698	1,465
大 住	6,482	1,637	859	2,514	1	664	16	66	422	303
田 辺	6,326	1,421	580	1,941	1	1,599	42	125	276	341
草 内	2,642	1,302	400	768	0	55	1	0	0	116
三山木	3,626	1,241	330	1,064	4	750	18	97	0	122
普賢寺	8,700	1,731	534	391	0	5,303	158	0	0	583

資料:税務課

〔 気 象 〕

7. 気象概況

区分 年次	気温 (°C)			降水量 (mm)		降水日数 (1mm以上)	風向・風速 (m/sec)		
	平均	最高	最低	総量	日最大雨量		平均風速	最多風向	最大風速
平成 29年	15.0	36.6	-2.9	1,550.5	154.5	113	1.4	西南西	22.4
30年	16.3	39.9	-4.7	1,513.5	112.0	118	1.6	西	31.6
令和元年	16.3	40.1	-3.0	1,303.0	109.0	99	1.6	西	19.3
1月	4.7	12.4	-3.0	24.5	18.0	3	1.5	西南西	14.9
2月	6.2	16.7	-2.2	40.0	16.0	4	1.4	北北西	13.4
3月	9.2	21.5	-1.0	70.5	14.5	11	1.6	西	16.3
4月	13.4	27.0	-0.2	94.0	21.5	10	1.8	西	16.8
5月	19.9	34.2	4.7	68.5	35.0	5	2.0	西	17.3
6月	23.1	33.1	15.3	148.5	37.5	9	1.6	西	15.8
7月	25.9	37.1	19.5	202.0	38.5	14	1.5	南西	13.6
8月	28.6	40.1	20.2	275.0	71.0	14	2.0	南西	19.2
9月	25.8	36.7	13.9	42.5	13.5	6	1.8	東南東	15.9
10月	19.5	34.0	10.2	254.0	109.0	13	1.6	東南東	19.3
11月	12.2	22.8	2.2	23.5	14.5	3	1.2	西南西	13.7
12月	7.6	16.7	0.1	60.0	13.0	7	1.2	西南西	14.5

資料:消防本部

8. 警報・注意報等の状況

種別	年次	平成 29年			平成 30年			令和元年		
		警 報	注 意 報	情 報・連 絡	警 報	注 意 報	情 報・連 絡	警 報	注 意 報	情 報・連 絡
合 計		13	212	381	13	159	314	6	198	175
大 雨		7	38	30	8	20	17	4	28	19
洪 水		3	21	-	-	4	-	1	9	-
大 雪		-	6	17	-	2	32	-	1	3
風 雪		-	3	-	-	2	-	-	1	-
強 風		-	11	-	-	16	-	-	13	-
霜		-	21	-	-	14	-	-	22	-
乾 燥		-	21	-	-	28	-	-	29	-
濃 霧		-	7	-	-	2	-	-	3	-
雷		-	84	-	-	71	-	-	92	-
暴 風		3	-	-	5	-	-	1	-	-
台 風		-	-	7	-	-	1	-	-	25
な だ れ		-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他		-	-	318	-	-	245	-	-	112
高山ダム放流		-	-	9	-	-	19	-	-	16

資料:消防本部